



所在地 三浦郡葉山町堀内

建物概要

- ・構造 寄棟造木造2階建(一部3階建)
- ・屋根 銅板葺
- ・外壁 ドイツ下見板張

建築面積 541.54㎡

建築年 大正3年(1914年)

設計 まごころざぶろう
木子幸三郎

国登録有形文化財

※平成29年(2017年)5月2日登録

葉山別邸を建てた東伏見宮 依仁親王は、十代後半イギリス留学。帰国後しばらくして、フランス海軍兵学校留学。帰国後海軍軍人となり、1903年東伏見宮家創設。横須賀鎮守府司令長官・第二艦隊司令長官・海軍大将となり1922年56歳で薨去されました。

周子妃(岩倉具視孫)の実家、岩倉家の別荘が逗子にあり、宮は度々滞在する中、逗子の風光に惹かれて別邸を造り、後、葉山にもこの別邸を建てました。妃は東京女学館、東洋英和女学校に学び、国際感覚豊かな才色兼備の女性として社交界で活躍しました。

湘南の宮家別荘としては最初の洋館であり、葉山に現存する唯一の旧宮家洋館です。戦後、カトリック・イエズス孝女会修道院に譲渡され、現在、黙想会・宿泊施設、地域の文化的催物に供されています。

外観は寄棟造り銅板葺木造二階建。ほぼ正方形平面、南正面に張り出した玄関ポーチ上の三階塔屋に軍艦の鉄製螺旋型タラップが通じ、四周見晴らしの良い隠れ家風の部屋があります。一階諸室は洋風ですが、二階の床の間付き十五畳と十畳の和室に、宮様の住まい方の本音が窺われます。

外壁はドイツ下見板張。装飾性の少ない白い洋館は当時の宮内庁宮繕の作品に多いと言われています。横浜等開港地に見られるコロニアル形式の幅広の二階バルコニーは、現在ガラス戸を入れて、室内ギャラリーとなっています。

取り壊してRC造とする計画がありましたが、1988年、建築家・長島孝一氏の提案を受けて、当時の院長(ピラール・マルチネス)の英断で修復保存が決まり、屋根、外壁等の大規模な修復と水場の改善等が行われました。2017年、登録有形文化財に登録。

(2018年9月現在)



Gallery

写真上 外観

写真上 (右) 螺旋階段

写真中 前面に幼稚園建設以前の外観

写真下 (左) 玄関

写真下 東伏見宮依仁親王・周子妃

